

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-520667(P2008-520667A)

【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-543100(P2007-543100)

【国際特許分類】

A 6 1 K 6/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

C 0 8 F 259/08 (2006.01)

A 6 1 C 7/20 (2006.01)

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

A 6 1 C 7/28 (2006.01)

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 6/00 Z

C 0 8 F 2/44 C

C 0 8 F 259/08

A 6 1 C 7/00 A

A 6 1 C 7/00 B

A 6 1 C 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月31日(2008.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フルオロポリマーを含有する少なくとも 1 つの層がその上に配置された非エラストマー基材を含む、歯科矯正装置である歯科物品であって、前記フルオロポリマーが部分フッ素化コポリマーであり、さらに：

前記フルオロポリマーが、フッ素を少なくとも 40 重量%含有し；

フルオロポリマー中に存在するすべてのフッ素原子のうちの少なくとも 50 %が、フルオロポリマーの主鎖中にあり；及び

前記部分フッ素化コポリマーが、有機溶媒に可溶性である、前記歯科物品。

【請求項 2】

歯科物品への物質の付着を低減する方法であって：

非エラストマー基材を含む歯科物品を提供する段階；および

コーティング組成物を塗布して、前記非エラストマー基材の少なくとも一部に、フルオロポリマーを含有する少なくとも 1 つの層を形成する段階；

を含み、前記フルオロポリマーが部分フッ素化コポリマーであり、フッ素を少なくとも 40 重量%含有し、フルオロポリマー中に存在するすべてのフッ素原子のうちの少なくとも 50 %がフルオロポリマーの主鎖中にあり；

ここで、前記コーティング組成物が、液体担体および前記フルオロポリマーを含み、前記歯科物品が歯科矯正装置である、前記方法。

【請求項 3】

パーフルオロエラストマーを含有する少なくとも 1 つの層がその上に配置された非エラストマー基材を含む歯科物品。

【請求項 4】

歯科物品への物質の付着を低減する方法であって：

非エラストマー基材を含む歯科物品を提供する段階；および

パーフルオロエラストマーを含有する少なくとも 1 つの層を被覆する段階；を含む方法。

【請求項 5】

フルオロポリマーを含有する少なくとも 1 つの層がその上に配置された有機ポリマー材料を含む非エラストマー基材であって、前記フルオロポリマーが、塩素、臭素またはヨウ素を含むフルオロポリマーと、有機過酸化物開始剤および多官能性脂肪族不飽和化合物を含む過酸化物硬化系とから得られる、前記非エラストマー基材。